

■ 祈りについて

【祈りとは】

●感謝

●お詫^わび

●下^げ座^ざ

5

- ・ 祈りのコツは声に出す事。
声に出すことにより、祈りが宇宙に響きます。
声の大きさは通常の会話くらいで良いです。
声の大小で祈りの効果に違いはありません。
10 周りに聞かれたく無い時は、無^む声^{せい}音^{おん}(息だけの声)でも有効です。

- ・ 自分の都合の良い時にだけ行うのではなく、朝晩祈りましょう。

- ・ 祈りの内容は具体的に神へ詳細に説明すると、閃^{ひらめ}きの受信感度が向上します。
15 ⇒曖^{あい}昧^{まい}な内容では、たとえ神々^{かみがみ}に祈ったのであっても伝わりにくいのです。

- ・ 他人の救われを祈る事は、『真理』に適^{かな}っています。詳しい方法は《89P》にて解説

- ・ 過去形にするのも良いです。(例：こんなに早く救^{いた}って戴^だいて、ありがとうございます。)

20

- ・ 『神』への祈りは、『神』の御用にお使い頂^{いた}きたい”は聞き入れて戴^だけます。

- ・ “〇〇を叶えて下さい”等は、祈りとは言いません。自己中心的な祈りだと、神^{かみ}に見向きすらされません。

25

- ・ 同じ内容を幾日も続けて祈る“くどい祈り方”は、逆効果になります。

★ 過去に行った行為、想いなど誤っていた事を認識・自覚し、反省・お詫^わび・感謝をする事で救われます。

30

【具体的な祈り方について】

神に通じる祈りと、通じない祈り

35

例) 病気の場合

悪い例：神に通じない祈り

40 神様、助けて下さい、私の病気を早く治して下さい。宜しくお願^{ねが}い致します。

★ 必要だからその状況にさせているので、いくら助けて下さいと祈っても、聞^きいて戴^{いた}けません。